

2015年3月6日  
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2015年9号)

カーニバル期間中の邦人被害

当館で把握している、本年のカーニバル期間(2月14日(土)から2月17日(火)までの間)前後における邦人被害は以下の通りです。

【窃盗事件】

2月1日(日)午後7時30分頃、セントロ地区のマルケス・デ・サプカイ(Marques de Sapucaí)通りにおいて、邦人観光客が(カーニバルに向けた)ダンス練習を見物していたところ、背中に担いでいたカバン(i-phone、カメラ、腕時計等時価合計約50万円相当在中)を何者かに奪われた。周辺はダンスを見学する人々で混雑しており、犯人を見つけることは出来なかった。

【窃盗事件】

2月14日(土)午後9時頃、イパネマ地区のヴィスコンデ・デ・ピラジャ(Visconde de Pirajá)通りとファルメ・デ・アモエド(Farme de Amoedo)通りとの交差点において、邦人がブロッコス(路上パレード)を見物中、不意に何者かに押され、しばらくした後、所持品(i-phone、財布等)が無くなっていることに気づいた。

【窃盗事件】

2月14日(土)午後11時頃、コパカバーナ海岸のビーチ内において、邦人観光客が友人らと一緒に景色を見ていたところ、いつの間にか砂浜に置いていたカバン(財布、i-phone等在中)がなくなっていた。

【強盗事件】

2月16日(月)午後8時頃、セントロ地区プレジテンテ・バルガス(Presidente Vargas)通りを邦人観光客が友人と歩いていたところ、少年グループ(6人)が近づいてきて、いきなり身につけていた金のネックレス(時価約20万円相当)を強奪すると、

そのまま逃走した。

**【窃盗事件】**

2月18日(水)午後3時頃、レブロン地区のデルフィン・モレイラ(Delfim Moreira)通りとバルトロメウ・メトレ(Bartolomeu Metre)通りの交差点(12番ポスト付近)の歩道上において、邦人観光客がバスを待っていたところ、脇に置いていたカメラセッター式(時価約30万円相当)が入ったカバンがいつの間にか無くなっていた。

**【強盗事件】**

2月23日(月)午前1時頃、ラランジェイラス地区のアリセ(ALICE)通りの97番地付近を邦人が歩いていたところ、年齢20~25歳位、身長約165センチ位の黒人男性が近づいてきて、着用していたシャツの下部に拳銃を所持している様子見せながら、所持品を出すよう要求した。邦人観光客が、直ちにパソコン、カメラ等(時価総額約25万円相当)が入ったカバンを差し出すと、男はそれを受け取り、走って逃走した。

**【窃盗事件】**

2月25日(水)午後11時頃、コパカバーナ地区のミニストロ・ビベイロス・デ・カルロス(Ministro Viveiros de Carlos)通りを邦人観光客が歩いていたところ、突然、後方から男が現れ、邦人が背中に担いでいたバッグ(パソコン、腕時計、タブレット等時価総額約40万円相当在中)を奪うと、コパカバーナ海岸方面に走って逃走した。